

山口 昇士前町長から みなさまへ



私が町長に就任をさせていただいたのが、20世紀最後、2000年の11月15日でございます。もうすぐ21世紀の扉が開く、そんな時に就任をさせていただきました。

私は少子高齢化を一つの重要テーマとして、行政運営にあたるという決意をし、幼児教育の充実、また学校教育の充実に心血を注いでまいりました。その一つが、2008年の小中学校の統廃合、3中5小学校を1中3小学校に統合するということとございました。地域の皆さんの母校がなくなるということで、厳しい意見もいただきましたが、箱根町の先行きを考え、非常に建設的な意見をいただきながら、長い間の懸念であった統合問題に一つの区切りができたということに、感謝を申し上げます。

また、未曾有の大災害となった2011年の東日本大震災、いまだに2,000人を超える行方不明者がいる中で、箱根町もいささかのお手伝いをということで、2013年の岩手県洋野町の漁網の受け入れについて、ご理解をいただきました。中には、観光地箱根にはもう行かないと、町内の声よりも、町外の声の方が非常に大きく、あの当時、絆、絆と言われている中で、非常に悲しい現実を見たわけですが、町民の皆さんには大変なご理解をいただき、復興に一つの役割を果たさせていただいたことに感謝を申し上げます。

また、1期毎に災害がありました。2015年は大涌谷の小規模な噴火、2019年は大涌谷の噴火警戒レベル引き上げ・台風19号、そして、2020年は新型コロナウイルス感染症の発生・感染拡大ということで、その都度、観光産業を根幹とする町の産業は非常に厳しい環境に置かれたわけですが、事業者の皆さん、町民の皆さん、議会の皆さん、そして職員が一丸となって、この難局を乗り越えてきたということは、本当に行政を預かる私としては、感謝の気持ちでいっぱいです。

振り返ってみると、本当に長かったというのが正直な気持ちですが、この20年という長きにわたり町政を担うことができたのも、ひとえに皆さんの支えがあったからこそです。大変お世話になりました。

皆さんには、健康に留意され、これからも箱根町の発展のために、お力をいただくことをお願い申し上げまして、お礼の挨拶とさせていただきます。どうも長い間ありがとうございました。

2008年

町立小・中学校を統廃合 (箱根の森小学校・箱根中学校が開校)

少子化における教育を充実させるため、中学校3校・小学校5校を、中学校1校・小学校3校に統合した。郷土箱根を知り、学校教育を通して箱根への愛着、誇りに思う心を育む地域教育、箱根ミニマムによる基礎学力の定着、国際理解教育、心の教育の育成など、特色ある「箱根教育」を推進した。

2013年

岩手県洋野町の災害廃棄物の受け入れ

9月、11月に災害廃棄物（漁網）52トンを第2一般廃棄物最終処分場に受入、広域的な震災復興に尽力した。

2020年

新型コロナウイルス感染症に係る事業者支援制度の設立

経営安定緊急融資をはじめ、利子補給および信用保証料補助、観光事業者等緊急支援補助を行い、経営状況が悪化している事業者に対し、経営の安定に寄与することのできるよう、支援を行った。



前箱根町長 **山口 昇士**
5期20年在任
(2000年11月15日～2020年11月14日)

町長選挙の投票所別投票率

投票区	投票所名	有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
第1	役場本庁舎	1,070	657	61.40%
第2	湯本小学校	1,241	700	56.41%
第3	須雲川集会所	142	96	67.61%
第4	温泉公民館	314	226	71.97%
第5	大平台集会所	322	238	73.91%
第6	社会教育センター	289	174	60.21%
第7	宮城野公民館	1,402	984	70.19%
第8	老人福祉センターやまなみ荘	603	361	59.87%
第9	二ノ平自治会館	361	224	62.05%
第10	仙石原公民館(仙石原文化センター)	3,095	1,879	60.71%
第11	箱根集会所	333	255	76.58%
第12	元箱根集会所	430	297	69.07%
第13	芦之湯集会所	51	35	68.63%
合計		9,653	6,126	63.46%

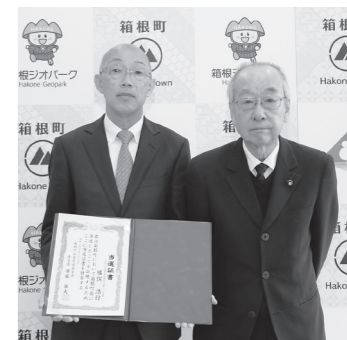
町長選挙投票結果

	男	女	計
有権者数(人)	4,617	5,036	9,653
投票者数(人)	2,840	3,286	6,126
投票率(%)	61.51%	65.25%	63.46%

町長選挙開票結果(届出順)

2,940票 田村洋一
当 3,135票 勝俣ひろゆき

箱根町長選挙は、10月25日投票、即日開票により行われ、勝俣浩行氏(宮城野・66歳)が当選しました。
 翌26日に当選証書授与式が行われ、選挙管理委員会委員長 安藤英夫氏から当選証書が手渡されました。



勝俣 浩行氏 安藤 英夫氏

町長に勝俣浩行氏が当選

町民生活の向上を目指して

10月25日に行われました町長選挙におきまして、町民の皆さんの深いご理解と力強いご支援をいただき、町政を担当させていただくことになりました。私は、この度の選挙を通じて、改めて地域の課題や箱根町の将来について、多くの皆さまから直接お聞きすることができました。今日まで多くの先人たちが幾多の困難を克服し、守り築きあげていただいた箱根の魅力に更に磨きをかけていきたいと考えております。

行政を進めるにあたり、「子育て世代の支援・福祉医療対策」、「火山活動・台風・地震等の災害への備え」、「新型コロナウイルスへの対応と経済復興活動」に重点を置き、施策を展開してまいります。

休日保育や夜間保育などの手厚いサポートで、町内で住み続けながら仕事・結婚ができ、安心して子育てができる町を目指します。また、若い世代の定住促進や高齢世代の福祉、医療、

介護サービスの満足度向上に努めます。自然災害が激甚化している昨今、町民の安心、安全を守るため自然災害への備えをより一層の強化を図ってまいります。

未だに収束が見通せない新型コロナウイルスですが、観光経済への影響に対し、箱根の先人が育んでこられた「箱根ブランド」を再確認し、より効率の良い事業展開をしていただくために、自然環境の保全やインフラ整備は勿論のこと、官民協働で「箱根ブランド」の向上を目指してまいります。

最後になりましたが、山口前町長さんの5期20年の長きにわたる偉大なご功績に対して、心から敬意を表しますとともに、これから先、ますますご健で箱根町のためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。町長就任のあいさついたします。

箱根町長
勝俣 浩行